

	製 品 仕 様		0 9 0 5 2 2 0	2 / 2
	分離型電磁流量計（検出器）		型式	T A V - S

一般仕様

絶縁抵抗：DC500V 100M Ω 以上（励磁コイルー接地間）
 使用周囲温度範囲：-10～+60 $^{\circ}$ C（被測定流体が結露しないこと）
 使用周囲湿度範囲：5～95%RH（結露なきこと）
 保存周囲温度範囲：-20～+60 $^{\circ}$ C（被測定流体が結露しないこと）
 保存周囲湿度範囲：5～95%RH（結露なきこと）
 電 源：変換器からの給電
 接 地：D種接地 100 Ω 以下

付属品

- ◆ 2芯2重シールドケーブル： m ※10m単位
 センタリングピース：1組（フランジレスのみ）

取扱上の注意

1 設置環境

- (1) 直射日光に当たる場所、電磁ノイズの多い場所、腐食性、雰囲気はさけてください。
- (2) 検出器と変換器間の信号ケーブルは付属の専用信号ケーブルを必ずご使用ください。また、専用ケーブルは、途中で継ぎ足したりすることは行わないでください。
- (3) 検出器と変換器は必ず決められた組み合わせで使用してください。
- (4) 防浸型では、水没の恐れのある場所はさけてください。
- (5) 水中型の常時水没は不可で水深4mで4週間以内で使用してください。
- (6) 検出器端子部の配線をし直した場合は、水を完全に静止した状態で再度ゼロ点校正を実施してください。
- (7) 振動や衝撃のない場所に設置してください。
- (8) 分解や改造は絶対に行わないでください。
- (9) 使用温度、使用湿度範囲内でご使用ください。
- (10) 検出器単独で接地（D種：接地抵抗100 Ω 以下）を確実に行ってください。
- (11) 検出器の据え付け時などに端子箱のカバーや水防グランドを外したまま放置しないでください。
- (12) 必ず弊社付属の水防グランドを使用してください。他の水防グランドでは仕様の防水機能が確保できない場合があります。
- (13) 取付や配管を行うスペースが確保できる場所を選定してください。

2 配管条件

- (1) 常に満流であること
- (2) 固形物が沈殿しないこと
- (3) エアーを吸い込まないこと
- (4) 上流直管部 5D以上、下流直管部 2D以上必要（D：口径）
- (5) 検出器の配管を電気溶接のアースに取るとは絶対に避けてください。
- (6) 配管に電流が流れる恐れのある場所への設置は避けてください。
- (7) 流体のpHや導電率の変化が激しい場所や不均一となる恐れのある場所は避けてください。（薬品注入の場合は検出器の下流側で行ってください。）
- (8) 一時的に流体のpHや導電率が変化した場合はしばらく流し通水を行い、変化後の導電率になじませてから水を止め再度ゼロ点校正をしてください。

■については選択項目です。◆については書き込み項目です。